

国際関連情報 IFRS 財団及び IASB 情報

# IASB の動向 (2018 年 5 月～2018 年 7 月)

ASBJ 専門研究員 かじた ゆきひろ  
**梶田 幸裕**

## I. 公開草案等の公表

IASB が資本の特徴を有する金融商品の会計処理に関して協議 (2018 年 6 月 28 日)

国際会計基準審議会 (IASB) は、金融商品を発行している企業が財務諸表においてそれらをどのように分類すべきかに関するディスカッション・ペーパーを一般からコメントを求めめるために公表した。コメント期限は 2019 年 1 月 7 日である。

IAS 第 32 号「金融商品：表示」は、現在、金融商品を発行している企業が金融負債と資本をどのように区別すべきかを示しているが、継続的な金融イノベーションにより、債務（負債）と普通株式（資本性金融商品）の両方の特性を組み合わせた一部の複雑な金融商品の分類が困難となっている。

このような状況において、IASB は、IAS 第 32 号の分類結果を根本的には変えずに、金融

商品が負債又は資本性金融商品のいずれかに分類される理由について明確な論拠を示すこと、及び表示及び開示を通じて提供される情報を拡充するための提案について意見を求めている。

詳細については、本誌 61 頁の「IASB ディスカッション・ペーパー『資本の特徴を有する金融商品』」を参照いただきたい。

## II. その他の IASB 関連のプレスリリース

IASB が「経営者による説明」の協議グループのメンバーを発表 (2018 年 7 月 10 日)

IASB は、IFRS 実務記述書「経営者による説明」の更新のための協議グループのメンバーを発表した。当該協議グループは、財務報告の利用者、監査人、財務諸表作成者、証券監督機関及び基準設定主体を含むさまざまな法域及び経歴のメンバー及びオブザーバーで構成される。

### メンバー

氏名 (敬称略)	組織	肩書き
Rodrigo Araujo Alves	Petróleo Brasileiro S. A. (Petrobras)	Chief Accounting and Tax Officer
Andreas Barckow	Accounting Standards Committee of Germany	President

Melissa Brown	Daobridge Capital Ltd.	Director
Larissa van Deventer	—	Equity Research Analyst
Liliana Franco	Air Liquide	Director, Accounting Organisation & Methods
Lisa French	International Integrated Reporting Council	Chief Technical Officer
Yukako Fujioka	Financial Services Agency, Japan	Director for Disclosure Planning
Trent W. Klein	TELUS Corporation	Director-Finance
Toby Langley	Bank of America Merrill Lynch	Research Analyst
Kris Peach	Australian Accounting Standards Board	Chair
Sandra J. Peters	CFA Institute	Head, Global Financial Reporting Policy
Deepa Raval	Financial Reporting Council	Director of Narrative Reporting
Massimo Romano	Generali S. P. A.	Head of Group Integrated Reporting
Michael Tovey	Bank of America	Head of Accounting Policy
Ryoko Ueda	Mizuho International	Director
Mark Vaessen	KPMG	Partner
Jed Wrigley	Eight Roads	Senior Investment Manager
Benjamin Yeoh	Royal Bank of Canada, Global Asset Management	Senior Portfolio Manager

## オブザーバー

European Financial Reporting Advisory Group
European Securities and Markets Authority
International Auditing and Assurance Standards Board
International Organization of Securities Commissions

当該協議グループは、「経営者による説明」制度の開発及び適用並びに「経営者による説明」において開示される情報を用いる際の実務経験及び専門知識を持つ人員及び組織へのアクセスをIASBに提供する。

## Ⅲ. IFRS 財団関連のプレスリリース

### 1. IFRS 財団が自身の定款に対する狭い範囲の変更に関して協議（2018年6月19日）

IFRS 財団の評議員会が、自身の議長及び副議長の在任期間の上限を延長するために、IFRS 財団の定款に対して狭い範囲の変更を提

案した。コメント期限は 2018 年 9 月 17 日である。

具体的な修正案は次のとおりである。

- 評議員会の議長の在任期間の上限を 9 年に延長する。
- 議長を評議員会の内部又は外部のいずれかから選任する選択肢を与える。
- 副議長が評議員会の中から選任されることを明確化し、在任期間の上限を 9 年とする。

当該変更は、リーダーシップの継続を通じて、財団の安定性を守るための柔軟性を提供する一方で、評議員会において適切な多様性と独立性を確保する。また、評議員会の再任の要件を明確化することにもなる。

## 2. IFRS 財団の評議員会が IFRS 解釈指針委員会のメンバーを任命 (2018 年 6 月 26 日)

IFRS 財団の評議員会が、Guy Jones 氏と熊谷五郎氏を IFRS 解釈指針委員会のメンバーに任命した。

Guy Jones 氏は、Ernst & Young のトロント事務所のプロフェッショナル・プラクティス・グループのパートナーであり、Ernst & Young の国際 IFRS 政策委員会のメンバーである。会計及び企業報告の問題の解決において 30 年の経験があり、同様にカナダ及び米国の規制に関する諸問題に対する経験がある。また、カナダ会計基準審議会 (AcSB) の IFRS 討議グループ及びカナダ証券管理局の財務報告諮問委員会のメンバーである。

熊谷五郎氏は、みずほ証券(株)の市場情報戦略部の上級研究員及び京都大学経営管理大学院の客員教授である。また、同氏は、公益社団法人日本証券アナリスト協会を代表して IFRS 諮問会議の副議長を務めていたが、IFRS 解釈指針委員会のメンバー就任時に退任となる。

両氏の任期は 3 年間であり、2018 年 7 月 1 日から開始している。

## 3. Erkki Liikanen 氏が IFRS 財団の評議員会の議長に任命 (2018 年 7 月 18 日)

フィンランド中央銀行の前総裁 Erkki Liikanen 氏が IFRS 財団評議員会の議長に任命された。これにより、重大な国際経済及び政策のリーダーシップの経験がもたらされることになる。同氏は、2011 年以來議長を務めている Michel Prada 氏の後任である。

同氏は、フィンランド中央銀行の総裁として 7 年間の任期を 2 期務めた。また、2004 年以降、国際通貨基金の総裁及び欧州中央銀行の政策理事会のメンバーを務めている。

同氏は国際的な職務経験を長年積んでいる。フィンランド中央銀行に入行する前は、欧州委員会の委員を務め、最初に予算、後に企業及び情報社会を担当した。また、1987 年から 2009 年までフィンランドの財務大臣を務め、1990 年から 1994 年まで外務省で欧州連合のフィンランド関連の任務の代表を務めた。同氏はまた、21 歳で最年少でフィンランドの国会議員になり、1972 年から 18 年間務めた。

同氏は、当初 3 年間の任期で任命されており、2018 年 10 月に南アフリカのヨハネスブルクで開催される会議の後に任期が開始する。

同氏の任命に関する勧告は、IFRS 財団の評議員会によって全会一致で支持され、その後 IFRS 財団のモニタリング・ボードによって承認された。

## IV. IASB 会議、IFRS 解釈指針委員会

IASB の会議は、ロンドンの IASB 本部で以下のとおり開催された。

- 通常会議 (2018 年 5 月 22 日、23 日)
- 通常会議 (2018 年 6 月 20 日、21 日)
- 通常会議 (2018 年 7 月 17 日、18 日)

また、IFRS 解釈指針委員会の会議は、2018

年5月9日（ビデオ会議）及び6月12日（ロンドンのIASB本部）に開催された。（詳細については、本誌74頁の「2018年5月及び6月のIFRS解釈指針委員会会議における議論の状況」を参照いただきたい。）

## V. その他のIASB関連会議

- 2018年5月2日 IFRS第17号の移行リソース・グループ（TRG）会議（ロンドン）
- 2018年5月14日から16日 新興経済グループ（EEG）会議（クアラルンプール）（詳細については、本誌44頁の「2018年5月 新興経済グループ（EEG）会議報告」を参照いただきたい。）
- 2018年6月5日から7日 IFRS財団の評議委員会のデュー・プロセス監督委員会（DPOC）会議（ロンドン）
- 2018年6月14日及び15日 IASBの代表者と資本市場諮問委員会（CMAC）及び世界作成者フォーラム（GPF）との合同会議（ロンドン）（詳細については、本誌78頁の「CMAC-GPF合同会議（2018年6月）出席報告」を参照いただきたい。）
- 2018年6月20日 IASBと米国財務会計基準審議会（FASB）との合同会議（教育セッション）（ロンドン）
- 2018年7月9日、10日 会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）会議（ロンドン）（詳細については、本誌49頁の「2018年7月開催 ASAF 会議報告」を参照いただきたい。）